

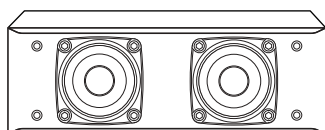
DENON

取扱説明書

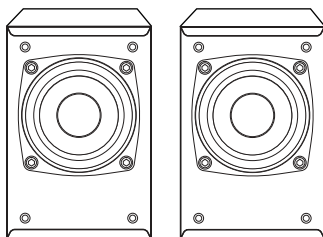
SYS-MG55

SPEAKER SYSTEM PACK

スピーカーシステムパック



センター用スピーカー
(SC-CMG55)



サラウンド用スピーカー
(SC-AMG55)

目次

はじめに	1 安全上のご注意2~5
	2 取り扱い上のご注意6~8
	3 付属品について9
	4 保証とサービスについて9
接続	5 接続のしかた10~12
その他	6 主な仕様13

スピーカーシステムパック SYS-MG55は、センター用スピーカー (SC-CMG55) X1台とサラウンド用スピーカー (SC-AMG55) X2台の合計3台で構成されています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保管してください。

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

[絵表示の例]



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



警告

安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、
電源プラグをすぐに抜く



電源プラグを
コンセント
から抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

内部に異物を入れない






バスレフダクト孔口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本機と接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。


安全上のご注意 (つづき)


警告 つづき


安全上お守りいただきたいこと


水が入ったり、濡らしたりしないように
 雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。


電源コードは大切に
 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
 電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット (スピーカー) を外したり、改造したりしない
 内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。


ご使用は正しい電源電圧で
 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。


雷が鳴り出したら
 電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。


長時間音が歪んだ状態で使用しない
 スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は
 まず本機と接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない
 火災・感電の原因となります。
水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない
 こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない
 万一内部に異物が入った場合は、まず本機と接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない



コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは



電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする



突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する



テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

置き場所について

不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるようなところ
湿気やほこりの多いところ
直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する



壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

安全上のご注意 (つづき)

注意 つづき

取り扱いについて

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない



特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない



機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は



まず本機と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は



安全のため必ず本機と接続している機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は



安全のため本機と接続している機器の電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を



販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

2 取り扱い上のご注意

使用上のご注意

- 長時間直射日光を受ける場所やストーブなどの暖房器具の近くに置くことは避けてください。
- 湿気の多い場所やホコリの多い場所に置きますと、故障の原因になる場合があります。
- スピーカーシステムの最大許容入力とは、一般のプログラムソースにおいて短時間なら加えることのできる入力ですのでこの値以上の入力を加えないようにしてください。
- ご使用になるアンプによって出力端子が異なる場合がありますので、アンプの取扱説明書をお読みいただき確認してください。
- アンプのトーンコントロールなどを最大にして、大出力で使用すると出力波形に歪現象などが現れることがありますのでこのような使用は避けてください。
- テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定の信号を連続して再生することは、絶対に避けてください。
- スピーカーシステムを移動させる場合、サラネットに強く触れますとスピーカーを破損させることがありますので、ご注意ください。

音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。

隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。

ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間のカラオケと音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

取り扱い上のご注意(つづき)

設置の際は設置場所・設置方法の安全性を十分ご確認ください。

スタンド、ブラケットなどを使用する場合はそれらの説明書に従い、安全性を確認の上ご使用または設置してください。落下によるいかなる損害、事故についても当社はその責を負いません。

設置の際のご注意

スピーカーの音質は、部屋の大きさ・形態(洋室、和室)・設置のしかたによって変わりますので、次のことに留意して設置してください。

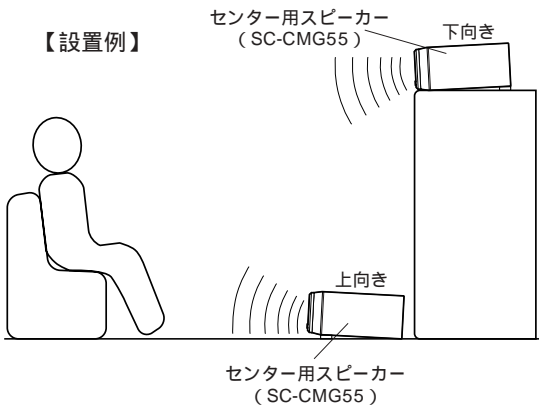
スピーカーをレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置するとハウリングを起こすことがありますので、ご注意ください。

スピーカーの背面や前面に壁やガラス戸などがある場合には、共振や反射を防止するために厚手のカーテンなどを掛けるようにしてください。

センター用スピーカー(SC-CMG55)およびサラウンド用スピーカー(SC-AMG55)はテレビとの近接使用が可能な防磁形スピーカーシステムですが、テレビの種類によっては色むらを生じる場合があります。その場合には一度テレビの電源を切り、15~30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁回路により、画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合には、スピーカーをさらに離してください。

センター用スピーカー(SC-CMG55)は設置する場所によって、前面が上向きまたは下向きになるように設置してください。耳より高い位置に設置する場合は前面が下向きに、床に設置する場合は前面が上向きになるように設置することをおすすめします。付属のすべり止め(厚さ約2mmのコルク)を貼って調節してください。

【設置例】

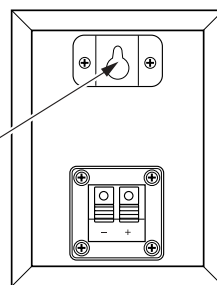


サラウンド用スピーカー(SC-AMG55)を台などの上に設置する場合、付属のすべり止め(厚さ約2mmのコルク)を底面のコーナー4ヶ所に貼ってください。(下図参照)

床に直接置いて低音域が不自然に強調されたりする場合には、コンクリートブロックなどの固い台の上のせるようにしてください。必要に応じて、別売りの床置きスタンド(ASS-100、ASS-80)、壁掛け、天井吊りブラケット(ASG-20)、天井吊りブラケット(ASG-10)のご使用をおすすめします。

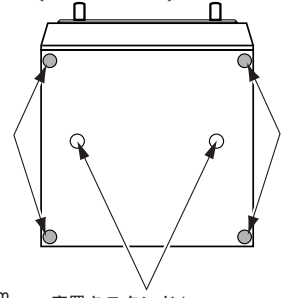
スピーカーと床置きスタンドおよび壁掛け、天井吊りブラケットとの取り付けは、床置きスタンドおよび壁掛け、天井吊りブラケットに付属の取り付けねじを使用して、サラウンド用スピーカー底面の取り付け穴(ナット)にゆるみがないように完全に締め付けてください。

【サラウンド用スピーカー(SC-AMG55)背面図】



壁掛け用フック

【サラウンド用スピーカー(SC-AMG55)底面図】



すべり止め貼り付け位置(厚さ約2mmのコルク)

すべり止め貼り付け位置(厚さ約2mmのコルク)

床置きスタンド/壁掛け、天井吊りブラケット取り付けねじ穴(M5×60mm間隔)

サラウンド用スピーカー(SC-AMG55)を壁に掛けて使用する場合

サラウンド用スピーカー(SC-AMG55)の背面にある壁掛け用フックを利用して壁に掛けて使用できます。その場合、壁掛け用フックの穴にネジ頭などを差し込みます。(上図参照)スピーカーの質量に耐えられるしっかりした壁に取り付けてください。落下によるいかなる損害・事故についても当社はその責を負いません。

ご注意

安全にお使いいただくため、本体の上に物をのせたり、寄り掛かったりしないでください。スピーカー側面に力が掛かった場合、スピーカーが落下する恐れがあります。けがなど重大事故の原因になりますので、十分注意してください。接続コードを手や足に引っ掛けて本機を落下させることのないように、接続コードは固定してください。



取り扱い上のご注意(つづき)

サラウンド用スピーカー(SC-AMG55)をスタンドまたはブラケットに取り付ける場合

サラウンド用スピーカー(SC-AMG55)の底面にはM5のナットが60mm間隔で埋め込まれています。別売りの床置きスタンド(ASS-100、ASS-80)、壁掛け、天井吊りブラケット(ASG-20)、天井吊りブラケット(ASG-10)に取り付けることができます。取り付けに際しましては、床置きスタンドや壁掛け、天井吊りブラケットの説明書に従い、十分注意してしっかりと設置してください。

サラウンド用スピーカー(SC-AMG55)を天井吊りブラケットに取り付けた際に取り付けの角度により逆さになります。そのときはDENONマークが逆さになりますので、サラネットを外して逆さに取り付けてください。

警 告

- 天井や壁への取り付けは安全性確保のため、専門施工業者へ依頼してください。
- 接続コードを足や手に引っ掛けて本機を落下させることのないように、接続コードは必ず壁などに固定してください。
- 取り付け後は必ず安全性を確認してください。

また、その後定期的に落下の可能性がないか安全点検を実施してください。取り付け場所、取り付け方法の不備によるいかなる損害、事故についても当社はいっさいその責を負いません。



その他の注意

近くにマグネット(磁石)など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらを発生する場合がありますのでご注意ください。

- 【例】ラック、置き台などの扉に装着されたマグネットがあるとき
マグネットを用いた健康器具などが近くに置かれているとき
その他、マグネットを使用した玩具などが近くに置かれているとき

説明のためのイラストは、原型と異なる場合があります。

取扱説明書を保存してください。

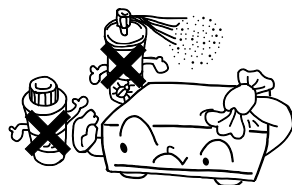
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保存してください。また、裏表紙の記入欄に必要事項を記入しておくとう便利です。

お手入れについて

キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。



使わないときは

移動させるとき

衝撃を与えないでください。
必ず接続コードを外したことを確認してからおこなってください。

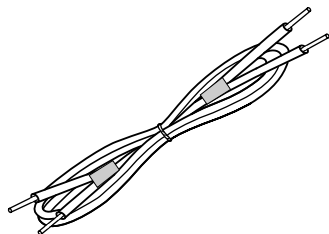


3 付属品について

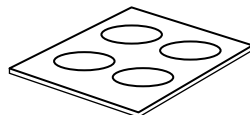
梱包箱の中には下記の付属品が入っています。ご使用前にご確認ください。

接続コード A (長さ: 約10m).....2本
サラウンド用スピーカー (SC-AMG55) の接続に
使用します。(コード両端ラベル青色及び灰色)

接続コード B (長さ: 約3m)1本
センター用スピーカー (SC-CMG55) の接続に使用
します。(コード両端ラベル緑色)



すべり止め (1シート4個)4枚 (計16個)



取扱説明書 (本書).....1冊

保証書
(梱包箱に貼り付けられています。)

製品のご相談と
修理・サービス窓口一覧表1枚

4 保証とサービスについて

- ① この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- ② 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。
修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。
- ③ 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- ④ 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- ⑤ お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ⑥ この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ⑦ 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

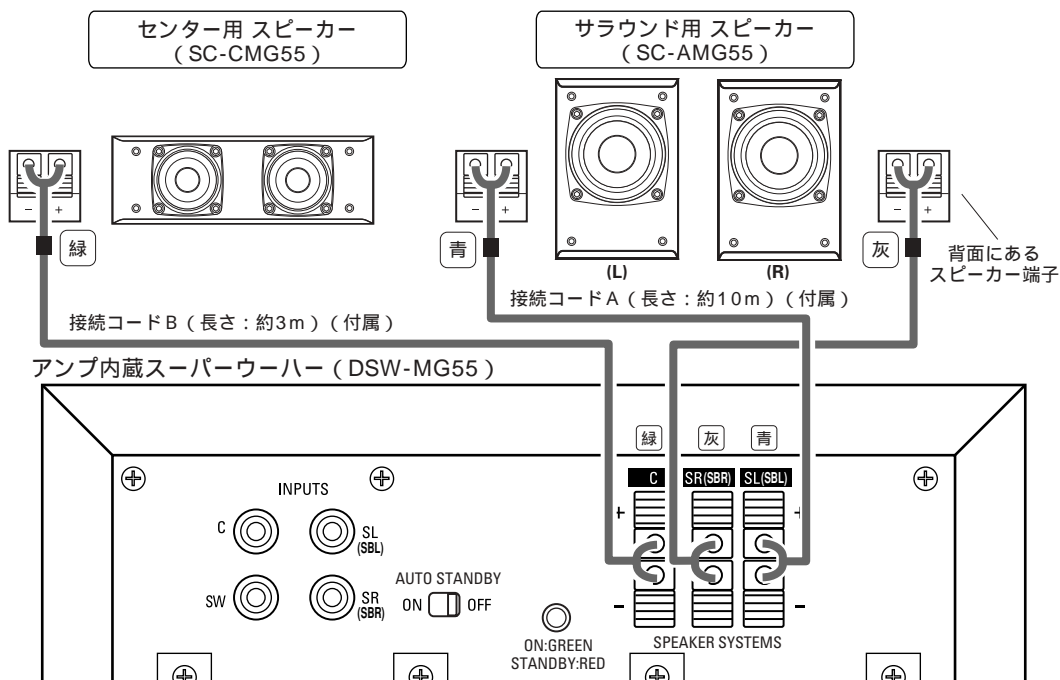
5 接続のしかた

(1) 別売りのアンプ内蔵スーパーウーハー (DSW-MG55) との接続のしかた

接続の際、本機に付属しています接続コード A、Bを使用しますが、接続コードは色別テープで色分けがされていますので、本機およびアンプ内蔵スーパーウーハー (DSW-MG55) のラベル印刷色が同色になるように接続してください。

付属の接続コードの銅色の方をプラス (+) 側に接続してください。

接続する場合は、必ずアンプ内蔵スーパーウーハー (DSW-MG55) の電源を切っておこなってください。

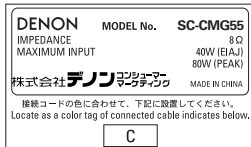


スピーカー設置時のご注意

テレビまたはモニター受像機に近付くとスピーカーの磁気により画面に色ズレが生じることがあります。この場合は影響のない位置に離してください。

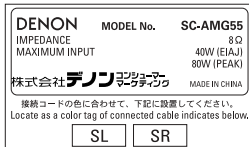
本機のラベル印刷色

センター用スピーカー
(SC-CMG55)



サラウンド用スピーカー (左)
(SC-AMG55)

サラウンド用スピーカー (右)
(SC-AMG55)



【ラベル印刷色】

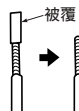
マーク	C	SL	SR
色	緑	青	灰

接続のしかた(つづき)

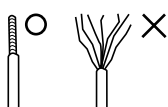
(2) スピーカーの接続

スピーカー端子への接続方法

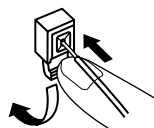
接続コード先端の被覆をはずす。



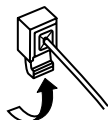
接続コードの先端の芯線がバラけないように手でしっかりよじる。



レバーを押し下げて、コードの芯線を穴の中に差し込みます。



レバーを離します。



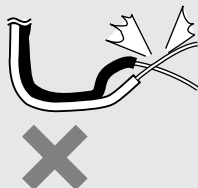
接続コードを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

ご注意

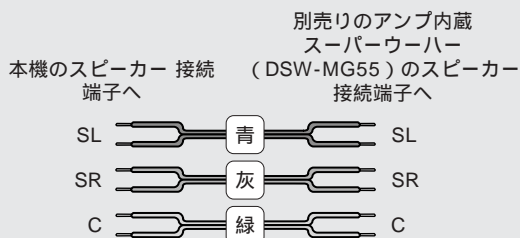
プラス (+) とマイナス (-) を間違えて接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続しないでください。

付属の接続コードの芯線が銅色の方をプラス (+) 側に接続してください。

回路の故障を防ぐため、接続コードの芯線のプラスとマイナスまたはL/Rを絶対にショートさせないでください。



接続コードA、Bは、次のように接続してください。



サラネットのはずしかた

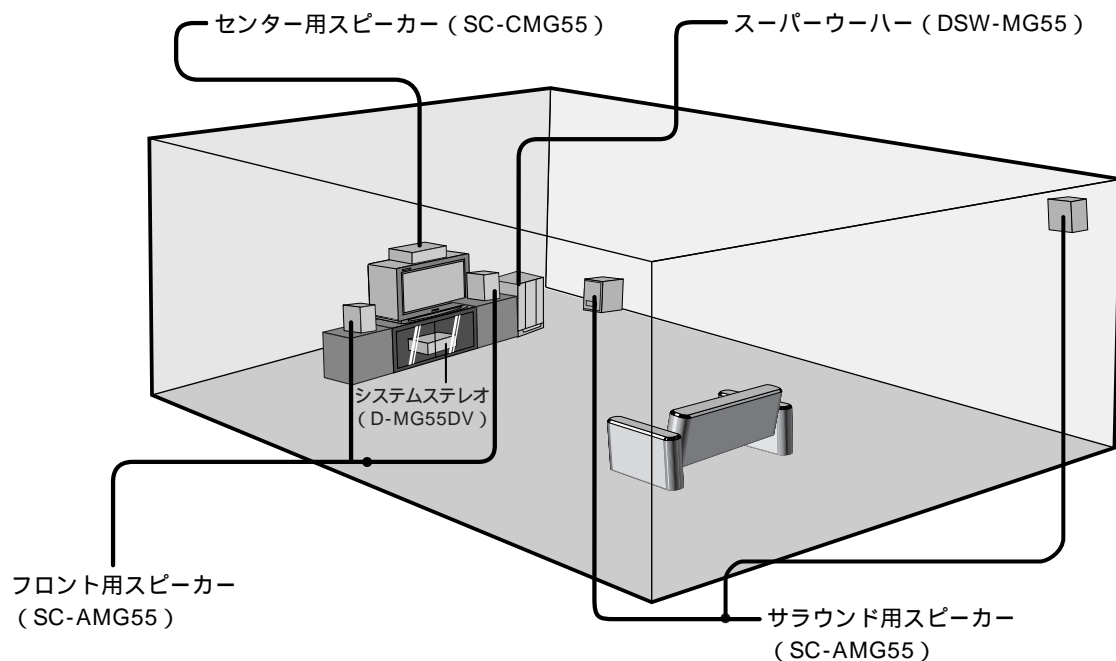
- スピーカーシステム前面のサラネットは、取り外すことができます。
- 取り外すときは、サラネットの両側を持って手前に引いてください。
- 取り付けるときは、サラネットの穴部とキャビネットの突起とを合わせて押し込んでください。

接続のしかた (つづき)

(3) 設置のしかた

スピーカーシステムのレイアウト (基本的なシステムレイアウト)

スピーカーシステム (6台) とテレビを組み合わせた基本的なシステムレイアウトの例です。



6 主な仕様

サラウンド用スピーカー (SC-AMG55)

形 式	1ウェイ・1スピーカー、密閉型、防磁設計、ブックシェルフ
再生周波数帯域	120Hz～20kHz
入力インピーダンス	8
最大許容入力	40W (EIAJ) 80W (PEAK)
平均出力音圧レベル	87dB (1W・1m)
スピーカーユニット	フルレンジ (8cmコーン形×1)
寸 法	95 (幅) × 140 (高さ) × 119 (奥行き) mm (サラネットを含む)
質 量	0.9kg (1台当たり)

センター用スピーカー (SC-CMG55)

形 式	1ウェイ・2スピーカー、密閉型、防磁設計、センター
再生周波数帯域	120Hz～20kHz
入力インピーダンス	8
最大許容入力	40W (EIAJ) 80W (PEAK)
平均出力音圧レベル	89dB (1W・1m)
スピーカーユニット	フルレンジ (5.7cmコーン形×2)
寸 法	210 (幅) × 71 (高さ) × 165 (奥行き) mm (サラネットを含む)
質 量	1.0kg

EIAJ：(社)電子情報技術産業協会(略称JEITA)が制定した規格です。

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
『防磁設計』とは、(社)電子情報技術産業協会(略称JEITA)の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

本機は国内仕様です。
必ずAC 100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。
AC 100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



MEMO

MEMO

株式会社 **デノン** コンシューマー マーケティング

本 社 〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター TEL : **03 - 6731 - 5555**

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間 9 : 30 ~ 12 : 00、12 : 45 ~ 17 : 30

(弊社休日および祝日を除く、月~金曜日)

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先(サービスセンター)については、次の URL でもご確認できます。

<http://denon.jp/info/info02.html>

後日のために記入しておいてください。

購 入 店 名 : 電 話 (- -)

ご購入年月日 : 年 月 日